

最先端研究開発戦略的強化事業調整会合 議事概要

日 時 平成 23 年 6 月 23 日 (木) 10:25 ~ 10:50

場 所 合同庁舎 4 号館第 3 特別会議室

出席者 阿久津政務官、相澤議員、奥村議員、今榮議員、白石議員、青木議員、泉統括官、
梶田審議官、吉川審議官、大石審議官

議事概要

議題 1 . 「最先端研究開発支援プログラムの公開活動」の平成 22 年度の実績と平成 23 年度の取組について

< 川本参事官説明 >

相澤議員 プ - 1 をご覧ください。

第 1 番目については、既に実施した国際シンポジウムと一般シンポジウムの結果を整理しております。本日議論していただくことは、第 2 番目の今年度どうするかということです。

国際シンポジウムについては、昨年度大変効果的な展開が行われたのですが、これをさらに効果が上がるように進めるにはどうしたらいいかということです。今回の提案では、中心研究者が世界のトップをリードしているということがより明確化されるような国際シンポジウムにしていくということを大きな狙いとしています。

そこで、中心研究者が研究を進めているフィールドに近い方で、かつそれぞれ世界トップレベルの業績を上げている方、そういう人が一つの場でかなり突っ込んだ議論をするようにする。場合によっては、中心研究者の研究のアプローチより、別のアプローチのほうが有効ではないか、といった議論がどんどん出てくるようにする。そして、そのような意見を取り込んだり、あるいは中心研究者が別のアプローチ方法を考えるというようなことを公開でやり取りするということが狙いです。そのようなことが上手くいくかということもあるかもしれませんが、22 年度に行われた国際シンポジウムでもそのような取組が行われているということですので、23 年度は全ての取組をそのレベルに持っていくことを狙いとしています。

このことについては、奥村議員が 22 年度の国際シンポジウムに出席され、そのようなことを感じられたということを先日言われていたので、そのことについてコメントしていただけますでしょうか。

奥村議員 私は、一部のシンポジウムに参加して、参加者と中心研究者の間のやり取りを伺ってきたのですが、これは主に外国の参加者の方からですが、かなりクリティカルなご意見が出てきて、それを中心研究者の方も受け止められて、そういうご意見の反映だと思っておりますが、その中心研究者の機関とそれからその海外の研究等が共同研究する

ような、という報告が載っておりまして、そういう意味のシンポジウムであれば私は大変効果的なのではないかという印象を持ちました。

相澤議員 この 30 課題につきましては、世界トップレベルの研究業績を上げられている方が中心研究者になっていることは事実であります。

しかし、その業績をさらに展開して、世界をリードしていくところがなかなか難しいところであります。ですから、あらゆる段階で世界に研究をオープンにして、いろいろな意見を戦わせながら、全体の研究を進めていくということが大変重要です。

そこでこの国際シンポジウムについては、その目的を達成するために進めるということが第 1 点目のポイントです。

それから、一般シンポジウムにつきましては、昨年度いろいろな成果を上げることができましたが、23 年度は、内閣府で昨年からはじめている科学・技術フェスタ in 京都、これを一般シンポジウムの中で位置づけようという提案です。シンポジウムは複数回開催されますが、そのうちの一回はこの科学・技術フェスタで行うことにしてはどうかということです。

この 2 点が今回の大きな変更であります。これでよろしいということであれば、その他については細部の運用上の改善ということで、プ - 2 とプ - 3 を決めていただくということになります。

したがって、まずプ - 1 についてご意見をいただきたいと思います。

この内容でよろしいでしょうか。

それでは、このような方針で平成 23 年度の公開活動を進めることにいたします。

それからプ - 2 とプ - 3 については、調整会議名で改訂する必要があります。

先ほどの説明では特段難しい位置づけのものはなかったと思いますが、これでよろしいでしょうか。

それでは、ご了承が得られましたので、これらの内容について大臣、副大臣のご了承を得た上で、調整会合として改訂させていただきます。

(以 上)